

国保について

ごみ処理について 尾口 五三 議員

問 ①保険税の引き上げ規模と影響について質疑して、多くに市民の願い、国保税の引き下げを指摘しました。②ごみ処理広域化の現状と今後についてと分別リサイクルの考えを聞き、さらなる分別リサイクルを実行し、ごみ処理施設の縮小化で建設費を抑えるよう提言しました。

答 ①今回の保険税率の改定の影響は、1世帯あたり年間最大1,200円の増加で、令和6年度の統一税率に向けて急激な負担増とならないよう改定を進めています。②奈良市が計画しているごみ処理広域化への参加の可否は令和4年度中には判断しなければなりません。また、単独、広域化いずれにせよ分別・リサイクルによりごみの減量を図り、将来の焼却炉建設に繋がりたいと考えています。

防災について

富野 孝之 議員

問 私は地域の自主防災組織や消防団にかかわっています。そこで、災害時の情報伝達手段、地域の自主防災体制強化の施策について、次に、非常事態時に市民が望む雑多な情報確認に便利なスマホの充電設備の設置、地域で飽きずにできる避難訓練のアドバイス、さらに、リスク分散を考えた防災備蓄品に対する考え方をお尋ねします。

答 エリアメールなど市民への広報、県との通信、市部局内の通信手段に加え、消防団でも無線の配備を進めています。地区訓練や防災ニュース、出前講座で地域防災や家庭でのローリングストック品の備蓄など啓発を行っています。スマホの電源確保では消防団に発電機付自販機の設置や家庭でのモバイル充電機器備蓄の啓発も行います。

GIGAスクール構想について

河田 和美 議員

問 ①現在全国平均を下回っている児童生徒1人1台のタブレット端末の今後の実施予定について②情報モラル教育について③特別支援学級へのタブレット端末の優先的整備について、それぞれお答えください。

答 ①令和5年度までに、児童生徒1人1台の端末整備に向け、段階的に進めてまいります。②昨年夏休みに中学生サミットを開催し、生徒代表と市長、教育長がスマートフォンについて意見交換を行ったところであり、現在各校でスマートフォンのルールづくりに取り組んでおります。③特別支援教育におけるICT機器の活用方法を考えながら、優先順位を検討していきたいと考えております。
・他の質問項目：幼児教育・保育の無償化について

文化芸術による子供の育成事業について

福田 浩実 議員

問 小・中学校での文化芸術鑑賞において、PTAや児童・生徒への負担を軽くするために、車いすダンスを含む障がい者による文化芸術活動の推進と予算について教育委員会のバックアップを強く要望します。教育長に対し、文化芸術による子供育成についてのご所見を伺います。

答 文化芸術は子供の豊かな感性や人間性を育むため重要と考えており、学校・園では音楽鑑賞、演劇など様々な文化的行事を工夫し実施しております。今後も障がい者による文化芸術活動を含め子どもたちが質の高い文化芸術に触れる機会を多くもてるよう支援してまいります。
・他の質問項目：道路の老朽化とメンテナンス事業について
公園整備と幼児の遊具について

学校給食と食育について

関本 真樹 議員

問 ①平成26年から平成30年にかけて倍増している朝食欠食児童をどう減らしていくのか。②弁当作りの保護者負担軽減の為、運動会の日等に給食を提供できないか。③給食も教育の一環である。こどもたちの未来のための食育を今後どのように進めていくか。

答 ①食育年間指導計画に朝食の大切さを伝えるためのテーマを設け、授業を行っています。②学校の要望により平日は給食を提供できますが、休日等は勤務体制等から提供できません。③食物に対する感謝の気持ち、食事マナー等の社会性等を子供たちが身につけられるよう、今後も様々な機会を通じて食育に取り組めます。
・他の質問項目：流域下水道の維持管理負担金について

高齢者外出・買い物支援について

丸谷 利一 議員

問 スーパー、病院、市役所等への外出困難な交通弱者が急増している。本年度の外出関連予算28万円では新しい外出支援策としては極めて不十分。コミュニティバスのコース拡充、ドアツードアのデマンドタクシーの実施は予算的に困難としているが、地域手当の削減など、身を切る改革で実施可能である。市長にその気があるのか。

答 コミュニティバス、デマンドタクシーについては、運転手の確保、民間事業の経営圧迫、予算面を考えると拡充、導入は難しい状況でございます。高齢者の外出支援策として、地域住民・団体の方々が主体となり、地域の実情に応じた移動手段の確保を考えております。本年度は準備予算を計上し、仕組みづくりに取り組めます。